

《文しょうもんだい5》

文しょうもんだいを やって みよう。こたえを 文しょうの 中から みつけよう。

【れいだい】

つぎの 文しょうを よんで、といに こたえよう。

あしたは さんすうの テストです。わたしは ひきざんが にがてなので、おとうさんに おしえて もらう ことに しました。わたしが おとうさんに おしえて もらって いると、おとうが ちかづいて きました。□ ぼくも やりたいと いいだしました。おとうさんは おとうとに、一から 十の すう字を おしえて あげました。

(1) □に入る ことばを アから ウから えらぼう。

ア ですから イ そして ウ もしも

(2) おとうさんは おとうとに なにを おしえて あげましたか。□に入る ことばを かこう。

から

の

【こたえ】

(1) イ

(2) 一から 十の すう字

【かいせつ】

(1) おとうとが ちかづいて きて、「ぼくも やりたい」と いった いるので、「そして」が 入ります。

(2) は 文しょうの つぎの ばしよに かかれています。

あしたは さんすうの テストです。わたしは ひきざんが にがてなので、おとうさんに おしえて もらう ことに しました。わたしが おとうさんに おしえて もらって いると、おとうが ちかづいて きました。そして ぼくも やりたいと いいだしました。おとうさんは おとうとに、一から 十の すう字を おしえて あげました。

つぎの 文<sup>ぶん</sup>しょうを よんで、といに こたえよう。

すずしい あきの よるです。子<sup>こ</sup>ぐまの くうたは、とぼとぼと 山<sup>やま</sup>みちを あるいて いました。三日<sup>みっか</sup>まえ、くうたは みちに まよって おかあさんと はぐれて しまいました。くうたは とつぜん ひとりぼっちに なって しまいました。空<sup>そら</sup>を 見<sup>み</sup>あげると、ぽっかりと きいろい まんまるの 月<sup>つき</sup>が ひかっています。

「おかあさん。」  
くうたは、さみしく なって お月さまに よびかけました。すると へんじが かえって きたのです。

(1) おはなしの きせつは いつですか。文しょうの 中<sup>なか</sup>から みつけて かこう。

(2) くうたは どうして ひとりぼっちに なって しまったのですか。□に 入<sup>はい</sup>る ことばをかこう。

と

しまったから

(3) 空に ひかっていた 月は、どんな いろで、どんな かたちを して いましたか。文しょうの 中から みつけて かこう。

いろ

かたち

つぎの 文<sup>ぶん</sup>しょうを よんで、といに こたえよう。

たかしは のりおと グラウンドで キャッチボールを して あそんで います。そこへ ゆうたが やって きました。たかしと のりおは、キャッチボールを して いた 手<sup>て</sup>を とめて いました。

「ゆうたも いっしょに あそぼうよ。」

ゆうたは、

「いやだ。」

と いった、いえへ かえって しまいました。

(1) おはなしの 中<sup>なか</sup>には、なん<sup>なん</sup>人の 人<sup>ひと</sup>が でて きましたか。か<sup>か</sup>ずを かこう。

人

(2) たかしと のりおは なにを して あそんで いましたか。文しょうの 中から みつけて かこう。

(3) □に 入<sup>はい</sup>る ことばを アから ウから えらぼう。

- ア だから
- イ けれども
- ウ さて

(4) ゆうたは どこへ かえって きましたか。

つぎの 文<sup>ぶん</sup>しょうを よんで、といに こたえよう。

ふゆの さむい よるです。うさぎの <sup>こ</sup>ぴん子は、とぼとぼと <sup>やま</sup>山みちを あるいて いました。五日<sup>いつか</sup>まえ、<sup>こ</sup>ぴん子は みちに まよって おにいさんと はぐれて しまいました。ぴん子は とつぜん <sup>そら</sup>ひとりぼっちに なったのです。空<sup>そら</sup>を見<sup>み</sup>あげると、ぽっかりと きいろい まんまるの <sup>つき</sup>月が ひかっています。

「おにいさん。」

ぴん子は、さみしく なって お月さまに よびかけました。すると へんじが かえってきたのです。

(1) <sup>こ</sup>ぴん子は どこを あるいて いますか。文<sup>ぶん</sup>しょうの <sup>なか</sup>中から みつけて かこう。

(2) <sup>こ</sup>ぴん子は どうして <sup>ひとり</sup>ひとりぼっちに なって しまったのですか。□に <sup>はい</sup>入る ことばをかこう。

と

しまったから

(3) <sup>こ</sup>ぴん子は いつから <sup>ひとり</sup>ひとりぼっちに なって しまいましたか。□に <sup>はい</sup>入る ことばをかこう。

まえ

つぎの 文ぶんしょうを よんで、といに こたえよう。

みな子こは ゆう子と 小学校しょうがっこうの 校まていで なわとびを して あそんで います。そこへ かずやが やって きました。

みな子と ゆう子は、なわとびを しながら いました。

「かずやも いっしょに あそぼうよ。」  
けれども かずやは、

「いやだ。」  
と いて、いえへ かえって しまいました。

(1) おはなしの 中なかに でて きた 三人さんにんの 名なまえを かこう。

--	--	--

(2) みな子と ゆう子は なにを して あそんで いましたか。文しょうの 中なかから みつけて かこう。

(3) みな子と ゆう子は どこで あそんで いましたか。□に 入はいる ことばを かこう。

小学校の



つぎの 文<sup>ぶん</sup>しょうを よんで、といに こたえよう。

きたの くにに 王<sup>おう</sup>さまが いました。王<sup>おう</sup>さまは とても お金<sup>かね</sup>もちなので、ほしい ものは すべて 手<sup>て</sup>に 入<sup>はい</sup>りました。

王<sup>おう</sup>さまは おしろの 中<sup>なか</sup>に いつも ひとりぼっちで いるので、ちっとも たのしく ありませんでした。

ある日<sup>ひ</sup>、王<sup>おう</sup>さまは つぶやきました。

「ともだちが ほしいなあ。」

ほかの ものは いくらでも 手<sup>て</sup>に 入<sup>はい</sup>るのですが、ともだちだけは お金<sup>かね</sup>で かう ことが できません。

(1) 王<sup>おう</sup>さまが いるのは どのの くにですか。 文<sup>ぶん</sup>しょうの 中<sup>なか</sup>から みつけて かこう。

の くに

(2)  に 入<sup>はい</sup>る ことばを、アから ウから えらぼう。

- ア たとえば
- イ なぜなら
- ウ しかし

(3) お金<sup>かね</sup>で かう ことが できない ものは なんですか。文<sup>ぶん</sup>しょうの 中<sup>なか</sup>から みつけて かこう。



つぎの 文<sup>ぶん</sup>しょうを よんで、といに こたえよう。

みなみの しまに 女王<sup>じよわう</sup>さまが いました。女王さまは お金<sup>かね</sup>を とても たくさん もっているの、ほしい ものは すべて 手<sup>て</sup>に 入<sup>はい</sup>りました。

しかし、女王さまは いつも おしろの 中<sup>なか</sup>に ひとりぼっちで いるので、ちっとも たのしくありませんでした。

ある日、女王さまは つぶやきました。

「ともだちが ほしいわ。」

ほかのものは いくらでも 手に 入るのですが、ともだちだけは お金で かう ことが できません。

(1) 女王さまは どんな 人ですか。□に 入ることばを かこう。

女王さまは

の しまに

すんで いて、

を

たくさん もって いる人

(2) 女王さまは、 どうして たのしく なかったのですか。□に 入る ことばを かこう。

いつも おしろの 中に

で いるから

(3) 女王さまが ほしかった ものは なんですか。文しょうの 中から みつけて かこう。